

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第40号
平成29年11月22日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

さまざまな秋 遅ればせながら 読書編

暦の上では立冬から2週間が経ち、彙びす講も終わり、季節は一気に冬へと向かっています。そんな中、少し遅くなってしまいましたが、「読書の秋」について、先日(11/17)の全校朝会での話を掲載します。

11月も半ばとなり、そろそろ秋も終わりに近づき、冬がそこまでやって来ていますが、今日は「読書の秋」の話をします。

文庫・新書・単行本・シリーズ本・調べ学習に使う本、本にも色々あります。私も、職業柄、本はたくさん持っています。でも、持っていればいいというものではありません。本棚に並んでいる本を眺めて、「ああ、この全集、きれいに揃ってて、いい眺めだなあ」なんて思うこともあるけれど、これは、自己満足の世界です。本はインテリアではありません。きちんと読まなければ、意味がないですし、役に立ちません。



みなさんはどんな本が好きですか。演壇の所に、たくさんの本が並べてあります[10冊ほど本を立てかけておきました]。先週、図書室で借りてきた本です。いろいろな本があります。

では、本を読むとどんないいことがあるのでしょうか。①知識や情報量(知っていること)が増える。②先人(昔の人)の知恵が学べる。③だから世界が広がる。④語彙(使える言葉の数)が増える⑤読んで得た知識や情報をもとにして自分の意見が持てるようになる。⑥やり方や方法(例えば料理の本などを読めば)が覚えられる。⑦本から得たことがヒントになって新しいアイデアが生まれる。⑧様々な文章に触れることによって表現が広がる……などなど。挙げればきりがありません。

よく「書物は頭と心の栄養だ」と言われます。本を読むことによって、脳みそが一生懸命働いて鍛えられます。読んで感じることによって心が豊かになります。夜が長いこの季節、たくさんの本を読んでほしいと思います。

最後に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、4月に行われている全国学力学習状況調査の質問紙の分析結果には、毎年必ず、次のことが書かれています。

毎日、短い時間でも読書をする習慣が身につけている子は、学力が高い傾向にある。とくに、読書が好きという子とあまり好きではないという子との差。1日に30分以上本を読む子とほとんど読まない、全く読まないという子との差は大きい。

反対に、電子メディアを使ったゲーム、つまりゲーム機やスマホ・パソコンなどのインターネットゲームなどです。こういうものにふれる時間が長いほど、学力が低くなる傾向がある。

さて、これから冬に向かって、さらに夜が長くなっていきます。集中して少しでも本を読むのと、ただだらとゲーム機でピコピコするのと、君たちは、どちらを選びますか。

それにしても、今年は久々に彙びす講の2日間が冷え込みました。これから、一段と寒さが厳しくなり、本格的な冬へと向かいます。そして学期末を迎えます。うがいや手洗い、早寝・早起き・朝ご飯など、健康管理にご留意くださいますようお願いいたします。

彙びす講と言えば、20日月曜日の朝、東門付近と駐車場には、ゴミが散乱していました。監視カメラの映像には多数の車の出入りも。門には「彙びす講の駐車場ではありません」と張り紙がしてあったのですが……。それにしても道路や校庭はゴミ箱ではありません。

西幼稚園との交流学習 11/13(月)

今年も西幼稚園から園児たちが1年生の教室にやって来ました。校外学習で拾ってきたどんぐりや家から持ってきた段ボールなどを使って、いろいろな遊びを考えました。2年生から伝授された遊びをやっていた子もいたのでしょうか。楽しいひとときを過ごしました。帰り際には「持久走大会のときに応援に来ていいですか」の声をかけてもらいました。そして当日、熱い声援を送ってくれました。近くに幼稚園があればこそ。ありがたいことです。

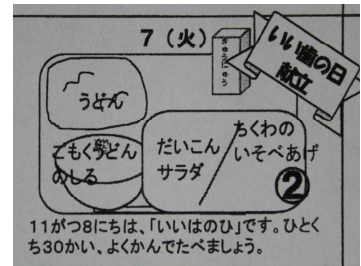
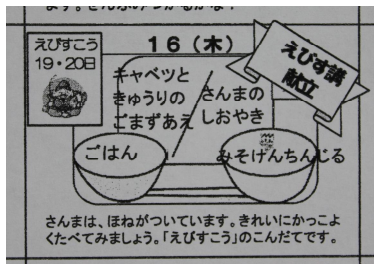
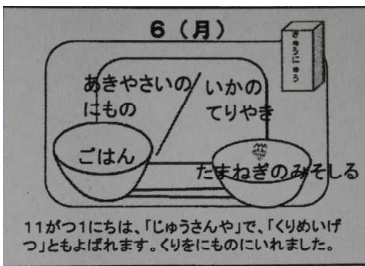


今月の特別献立+α

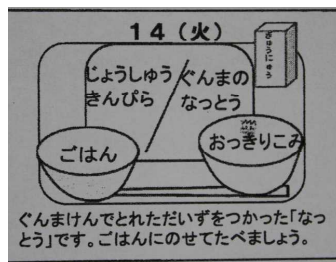
十三夜[今年は11/1]に因んで

えびす講こんだて

いい歯の日こんだて



十三夜は《栗》、えびす講は《けんちん汁》、いい歯の日は《ちくわの磯辺揚げ》にご注目。



もう一つ、先日、就学時健診と重なり、紹介できなかった「学校給食ぐんまの日」と同様の献立(左)があったので、載せてみました。おいしそうでしょう。大人には好評でした…でも。

